

大地と生態系と人の物語

1年間のジオパーク活動と今後の予定



▲井川でのジオの学びセミナー



▲東祖谷中学校での出前授業



▲第1回ジオカフェの様子

三好市ではジオパーク活動を始めて1年が経ちました。1年間で延べ1660人以上の方々と一緒に、学校現場や各地域などでジオパーク出前授業やジオカフェ（座談会）などを行いました。それらの活動報告の一例であるジオパーク出前授業についてご紹介します。

ジオパーク出前授業

出前授業では、東祖谷・西祖谷・井川・三野・池田中学校および井内・辻小学校を訪れました。座学や屋外に出て地域の大地の特徴を探しに行くことで、私たちの住んでいる地域の足元（大地）にはさまざまな特徴があり、その特徴がそれぞれの文化や歴史と深く結びついていることについて理解を深めました。

ジオパーク活動を通して生徒たちからは、「今日現在に至るまでにさまざまなストーリーがあつたから、池田町が池田町でいられるんだ」「毎日生活している三野町ですが、何千年・何万年と長い年月をかけてできた自然の上でできた町ということは今まで考えたことが無かつたので、感動しました」などの感想が出ています。

このように自分たちの住んでいる郷土に誇りを持つことにつながる取り組みがジオパーク活動なのです。しかし、まだまだ市民の皆さまにジオパーク活動が浸透していません。足元（大地・ジオ）にある特徴をうまく利用して、教育や観光に役立てることが本当の意味でのジオパーク活動です。

そして、ジオパーク活動で最も大事なことは、「地域の皆さんのアイデア」と「出たアイデアを実行する」ため自ら考え動くことです。今年度は、ジオパークをうまく活用して、地域の方が自ら動くことができるように推進していきたいと思えます。

今後のジオパーク関連イベントの予定

第5回ジオカフェ

【申込締切】4月17日（火）  
【日時】4月21日（土）13時～15時  
【場所】道の駅大歩危  
【定員】20名  
【参加費】無料  
吉野川や祖谷川などの溪流に生える植物がいます。その名も「溪流沿い植物」。溪流沿いで生える理由やどんな種類の溪流沿い植物がいるのか、一緒に探りませんか？

三好市プチガイド養成講座

【申込締切】4月25日（水）  
【ジオカフェのお申し込み・お問い合わせ先】三好市役所地方創生推進課ジオパーク担当  
電話 72・7607

第6回ジオカフェ

【申込締切】5月11日（金）  
【お問い合わせ先】三好市観光協会  
電話 76・0877

【期間】5月～7月

夜の部と昼の部が選べます。日時や講座の内容の詳細については三好市観光協会にお問い合わせください。なお、案内チラシを4月中旬ごろに観光協会事務所や各支所および道の駅、観光施設などで配置しますのでご自由にお取りください。



地域おこし協力隊を卒業します



三好市役所 観光課勤務  
1年間お世話になりました！

おおつか まなぶ  
大塚 学



紙面での報告となつてしまい大変恐縮なのですが、本年3月限りで「協力隊」としての仕事を一区切りをつけることを決めました。とはいえ、これがお別れのあいさつ、と言うつもりはありません。4月からは、にし阿波の地で創業し、民間事業者の立場で仕事を行うつもりです。最初から出口戦略として「起業したい」と宣言して協力隊の仕事を始めましたので、第一段階（協力隊として地元での基盤を築く）が終了し、そろそろ次の段階（民間の立場で産業の発展に貢献する）に進む時期が来た、と考えての決断となります。ちょっと早い感じもしますが、リスクを背負って勝負に出るなら若いうちにやるべき、という自分自身の仕事観もあり、このように舵を切ることにしました。4月より創業の会社名は（株）AWA・REといたします。古語の「もののあはれ」と、英

単語の「aware（認識する）」、そして徳島の「阿波」の3つの意味合いがあります。事業領域としてはいくつか考えているのですが、初期段階はツーリズム（旅行業）を主軸に据えてビジネスを展開していきます。なかなか短い紙面では書きつくせないのですが、これから自分にとつての本番です。会社を作ることは自分自身はそれほど難しくありません。市場と向き合つて継続して利益を上げ、雇用を生み、社員に充実した職業生活を保障する事が会社としての責務です。それが実現できるように、会社経営者の目線からにし阿波の発展に貢献できるように、これからの一つ、努力を積み重ねていきます。三好市は本当に大きく、1年だけでは全ての地区に関わり切れなかつたのが今年度の反省点です。来年度はもっと自由に、いろいろな所を開拓していこうと思つていますので、今後ともよろしく願ひいたします。

三好市役所 農業振興課勤務

ふくだ たかや  
福田 喬也



今後もお茶や休耕地の利活用に取り組みたい

三好市役所 農業振興課勤務

本年度、3月31日をもって、地域おこし協力隊を退任することになりました。これまで、お茶に関わる活動や休耕地の利活用の活動などを行ってきました。お茶に関わる活動では、「天空ノ山茶」のPRに注力させていただき、三好市のお茶のブランドの一つとして加わつたのではないかなと感じております。また、私自身もお茶の専門的な知識を深めるため、

「日本茶インストラクター」という資格を取得しました。そして、これからお茶に関わつていきたいと考えています。休耕地の利活用で印象的だったのは、昨年で4回目を実施した徳島大学の講義のフィールドワークです。大学生が午前中に井川町の辻のガイド、午後から井内の梅の収穫・加工体験を行い、学生と共に地域の歴史や農業体験に参加し、市民やその関係者との心のふれあいできたことは、今後の人生にとって大きな成果であり、少しずつでも継続的に行うことが大切であると感じました。今後は、三好市に定住し、これからもお茶や休耕地の利活用などに関わつていきたいと思つています。最後に、今まで活動を支えて下さいました皆さま、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしく願ひいたします。



▲旧出合小学校で行われた四国まんなかのお茶会、四国各地の茶を飲み比べ



▲自然農法と希少性が評価され、経産省ふるさと名物に選定された天空ノ山茶